



THE ORACLE PRO

ユーザーマニュアル

"自分の *bias* を知る。いつ信頼できるかを知る。"

マルチタイムフレーム Bias Engine

Multi-Factor Consensus

Synthetic Timeframe Architecture

Vector Consensus Divergence

Dual State Engine

20 カラーテーマ

EA-ready buffers

MERKAVA LABS

Version 1.00 — 2026年6月

概要

高度な **consensus**。最大3つのタイムフレーム。規律ある **bias** 読み取り。

The Oracle Pro は、要求の高いプロのトレーダーのためのプレミアム・マルチタイムフレーム **bias engine** です。方向 **bias**、**conviction** の強さ、**タイムフレーム間の一致**、**divergence warning** を、ひとつのコンパクトな操作コンソールにまとめます。複数チャートに別々のインジケーターを積む代わりに、洗練された Multi-Factor Consensus を読みます。既定の確認済みワークフローは、確定足と因果的な HTF 状態を優先します。HTF Forming Bar は任意の live preview です。

Bias engine であり、売買指示ではない

The Oracle Pro の役割は明確です。これは規律ある方向背景を提供する **マルチタイムフレーム・マルチファクター bias indicator** です。エントリー、エグジット、利益を約束するものではありません。あなたは自分のセットアップを bias の方向で取引し、consensus が分裂している、または Quality が低いときは見送ります。

⚠️ 重要: The Oracle Pro の矢印とマーカーは *context cues* であり、売買指示ではありません。製品が提供するのは市場背景の誠実な読解であり、セットアップ、エントリー、エグジット、リスク管理はユーザーの責任です。

The Oracle Pro の違い

項目	一般的な MTF ツール	The Oracle Pro
Engine	単一オシレーターまたはトレンド線	複数の市場次元にまたがる Multi-Factor Consensus
MTF data	broker HTF、lag と repaint リスクあり	M1 から合成した HTF。確認済みモードは 1-bar HTF shift
TF ratios	M5/M15/H1 の固定段階	M3/M9/M27 などの合成チェーン
Directional engine	固定	Trend State または Momentum State を選択
Divergence	pivot-based、未来足が必要	VCD は slope-based の早期消耗警告
Output	矢印または色だけ	Bias + Conviction + Quality + Scanner + Buffers

チャート上で見るもの

Subwindow bands

- **CTF Band:** 現在足の bias
- **HTF1 / HTF2 Bands:** 上位足の背景
- **Conviction:** 各レイヤーの strong / weak
- **VCD Darkening:** 消耗警告の縦列

Panel & Scanner

- **Bias State:** レイヤー別 BULL / BEAR
- **Quality Score:** 0-100 の品質表示
- **Scanner:** multi-TF summary
- **Header Timer:** 次バーまでのカウント

Synthetic Timeframe Architecture

上位タイムフレームは **M1 data** からカスケード feed で再構築されます。確認済みモードでは HTF 文脈を 1本シフトし、因果的で look-ahead なしに保ちます。HTF Forming Bar は live preview です。

💡 Workflow: engine と TF structure を選び、bias と Quality を読み、VCD を背景警告として使います。

クイックスタート

The Oracle Pro を1分以内に動かす。

インストール

MQL5 Market で購入すると、The Oracle Pro は **自動的にインストール** されます。手動コピーは不要です。

- 1 **MetaTrader 5** を開く
- 2 **Navigator** → **Indicators** → **Market** — The Oracle Pro を探す
- 3 **チャートヘドラッグ** — band、panel、scanner が表示されます。

既定設定

Input	Default	機能
Signal Engine	Trend State	bias を駆動する directional-state engine
Trend Period	14	Trend State の基本 period
Timeframe Structure	1 TF (CTF only)	有効レイヤー数
HTF Resolution	Institutional	上位足の選択方法
Base Ratio	x3	レイヤー間の合成 ratio
Enable VCD	On	divergence early-warning layer
Color Theme	Quantum	20 種類のプロ向けテーマ
Max Bars	2000	計算深度 (0 = available bars すべて)

💡 Defaults は保守的です。**現在足だけの Trend State** が既定です。H1 より上では、これだけでも強く安定した bias 読み取りになります。構造的確認が必要ときに HTF を追加します。

30秒で読む

- 1 **band 色を見る** — bullish / bearish、strong / weak。
- 2 **panel を確認** — レイヤー別 BULL / BEAR と一致。
- 3 **Quality Score を読む** — 高いほど背景を信頼しやすい。
- 4 **VCD を見る** — band が暗くなると consensus が割れ始めています。

誠実なツールの原則

bias filter は、取引しない場面を示すときに最も価値があります。レイヤーが不一致、または Quality が低い場合は背景が争っています。管理し、待ち、新規 entry を避けます。

Dual State Engine

ひとつのインジケーター、2つの方向読み取り。その他は同一。

The Oracle Pro は input `Signal Engine` で `directional state` の源泉を選べます。Consensus、panel、scanner、Quality Score、EA buffers は同じままです。

Trend State (default)

Trend State は **落ち着いた持続型 `directional-state engine`** です。市場の構造的方向を読み、構造が本当に変わるまで保持します。

- H1 より上では **CTF-only** で使う前提に最適化されています。トレンドが続く場所では、現在足だけでも強い bias 読み取りになります。
- **HTF** を追加すると安全性と確認が増えますが、bias の変化頻度は大きく下がります。
- swing、position、規律ある intraday に適します。

Momentum State

Momentum State は **より速く反動的な engine** です。短い動きに早く追随します。

- **速い動きを早く捉える** ため、scalping や lower TF に有用です。
- 代償は **false flips** の増加です。反応性が高いほど chop で whipsaw が増えます。
- 滑らかさより反応速度が重要なときに使います。

選び方

項目	Trend State	Momentum State
性格	落ち着き、持続	速く、反動的
Flip frequency	低い	高い
False flips	少ない	多い
Best TFs	H1 以上	低い TF、scalping
Profile	Swing, position, intraday	Scalping, fast execution

⚠️ どちらの engine も予測器ではありません。 どちらも確定足で `directional bias` を作ります。Momentum State はより正確なのではなく、より敏感です。

💡 Conviction tiers は両 engine に適用されます。 band は常に `direction` と `strong / weak conviction` を示します。

Synthetic Timeframe Architecture

標準プラットフォームにないチェーンを作り、価格構造を読む。

標準プラットフォームは M1, M5, M15, M30, H1, H4, D1, W1 の固定階段に制限します。この ratio は人間には便利ですが、市場構造に常に最適ではありません。また中間 timeframes には one-tick delay defect があります。The Oracle Pro は HTF を **M1 data から合成的に** 再構築します。

仕組み

Step	内容
Aggregation	M1 から synthetic bars を構築: open = 最初の open、high = max、low = min、close = 最後の close、volume = sum。
Closed-bar rule	含まれる M1 bars がすべて揃ったときだけ synthetic bar は closed です。
Confirmed HTF shift	HTF state は1本シフトして読めます。因果的、look-ahead なし、repaint なし。HTF Forming Bar は optional live preview。

本当の fractal dimensions

合成チェーンにより、M5 → M15 → H1 の固定ジャンプに縛られません。scale-optimal chains、たとえば **M3 / M9 / M27** を使えます。

Merkava Labs の研究は intraday で約 **3x** の分離に収束し、上位 TF では ratio が広がることを示しています。そのため x2, x3, x4, x6 presets が重要です。

Timeframe Structure

Structure	Active layers	Typical use
1 TF (CTF only)	現在 TF	Default。Trend State では H1 以上で安定 bias。
2 TF (CTF + HTF1)	+ 第1上位 TF	HTF 背景つき intraday。
3 TF (CTF + HTF1 + HTF2)	Full stack	構造確認つき swing。

HTF Resolution Modes

Mode	Behavior
Institutional	Merkava Labs workflow と一貫する automatic higher-TF ladder。
Manual Timeframes	HTF1 / HTF2 を正確に指定。
Ratio Preset	Base Ratio から synthetic chain (x2, x3, x4, x6)。Default x3。

⚠ レイヤーが多いほど確認は増え、bias changes は減ります。特に Trend State では HTF1 / HTF2 が安全性を増しますが、反応は遅くなります。

Consensus Bands & Panel

Consensus が中核、bands と panel が読み取り層です。

Multi-Factor Consensus

方向読み取りは単一オシレーターではありません。複数の市場次元にわたる proprietary indicators と optimized algorithms から作る **高度な Multi-Factor Consensus** です。複数の独立した見方をひとつの規律ある bias に解決します。

3つの bands

Subwindow は CTF、HTF1、HTF2 の最大3つの histogram bands を表示します。各 band は次を表します。

Code	意味
Direction	レイヤーの bullish / bearish bias。
Conviction tier	Strong = 高 conviction · Weak = 低 conviction。

Subwindow 右端には active layers の labels が表示されます。

Panel

Optional panel は診断用の真実です。各 layer の Bias State と Conviction、alignment、次バーまでの timer を表示します。

Layers aligned

CTF, HTF1, HTF2 が同じ方向を向き、context aligned、Quality が上がります。

Layers disagree

方向が割れています。context contested、Quality 低下。"not now" と扱います。

Consensus Shift Marker

任意の chart line が aligned consensus の変化を示します。確定足で描画される **context cue** であり、売買指示ではありません。

💡 **Bands は一目確認、panel は詳細確認。** 色で direction と conviction、panel で正確な state と Quality Score を見ます。

Quality Score & Scanner

現在の背景をどれだけ信頼できるか、他の TF 行はどう見えるか。

Quality Score (0-100)

Quality Score は現在の bias をどれだけ信頼できるかを測ります。3つの正直な要素を組み合わせます。

Component	評価するもの
Vote margin	現在 TF の consensus がどれだけ一方向に決定的か。
Bias stability	bias がどれだけ長く方向を保持しているか。
Layer alignment	active layers のうち何層が CTF と一致するか。

高い score は決定的で安定し、整合した背景を示します。低い score は争われた背景を示します。

使い方

Quality Score は gate として使い、signal として使いません。**High** → 自分の setups に有利な背景。**Low** → 待つ、管理する、新規 entry を避ける。

Scanner

Scanner は同じ logic を複数 timeframe 行に適用し、追加チャートを開かずに agreement と fracture を表示します。

Decision Workflow

まとめて読む

Strong bias + high Quality + aligned layers → 自分の setups を conviction ありで使う

Strong bias + medium Quality → size を落とし、layers を監視

Low Quality / layers disagree → 見送り

VCD active → consensus が割れ始めている。弱い continuation を避ける

💡 Scanner と panel は判断の代替ではありません。状況を圧縮し、判断を速く、情報量の多いものにします。

Vector Consensus Divergence

The Oracle Pro 専用の早期消耗警告レイヤー。

古典的 divergence の問題

古典的 divergence は pivot を待ちますが、pivot は構造上、未来足を必要とします。これは lag または repaint を生み、単一 oscillator に依存します。

VCD の考え方

VCD は **continuous slope vectors** を比較します。価格の slope と multi-model consensus の slope を、過去の確定足だけで比較します。

VCD が検出するもの

価格が一方向へ進み続ける一方で、**multi-model consensus** が反対側へ傾き始めると、trend は内部一致を失います。VCD はこれを消耗の可能性として表示します。

Unified warning column

Divergence が出ると bands は一緒に暗くなり、明確な縦の warning column を作ります。

感度コントロール

Control	Effect
Min Indicators Diverging	VCD activation に必要な divergence indicator 数 (4, 5, 6 または 7 of 7)。
Threshold Mode	Fixed %, ATR-based または StdDev adaptive。
Dark Histogram / Arrows	暗い column と optional VCD arrows を表示。

⚠️ **VCD は早期警告であり、反転予測器ではありません。** 内部一致の喪失を示すだけで、反転を約束しません。

💡 **Best practice:** VCD を consensus direction と Quality Score と組み合わせます。

Inputs 完全リファレンス

Inputs は設定ダイアログと同じグループで示します。Defaults は出荷設定です。

Group	Input	Default	説明
Sensitivity	Signal Engine	Trend State	Trend State (calm) または Momentum State (fast)。
	Trend Period	14	Trend State の base period。
	Momentum Deviation	Fixed	Momentum State の deviation mode。
	Timeframe Structure	1 TF (CTF only)	Layers: CTF, CTF+HTF1, CTF+HTF2 または all。
	HTF Resolution	Institutional	Institutional, Manual, Ratio Preset。
	HTF1 Timeframe	1st Higher TF	第1 HTF manual または auto。
	HTF2 Timeframe	2nd Higher TF	第2 HTF manual または auto。
	Base Ratio	x3	レイヤー間の synthetic ratio (x2-x6)。
HTF Forming Bar	false	形成中 HTF bar の preview。default は confirmed states。	
Quality Filter	Enable VCD	true	VCD を有効/無効。
	Threshold Mode	ATR-based	Fixed %, ATR-based または StdDev。
	ATR Period	14	Thresholds と offsets 用 ATR period。
	ATR Multiplier	1.0	ATR multiplier。
	Price / StdDev params	0.15 / 1.5 / 50	Price %, StdDev multiplier, lookback。
	Min Indicators Diverging	6 of 7	Diverge が必要な indicators (4-7)。
Appearance	Color Theme	Quantum	20 themes の1つ。
	Chart Background	Off	Off / themed dark / themed light。
Signals	Shift Line	true	consensus shift marker を表示。
	Shift Line Style / Width	Solid / 2	Style, width, behind-price option。
	Shift Bull / Bear Color	Theme	shift marker color。
	VCD Arrows	true	VCD transitions で arrows を描画。
	Dark Histogram	true	VCD active 時に bands を暗くする。
	VCD Arrow Style / Width / Color	Diamonds / 2 / Theme	VCD arrows の表示。
Panel	Show Panel	true	診断 panel。
	Show Scanner	true	Multi-timeframe scanner。
	Show Header Timer	true	header countdown。
	Font / Size / Offsets	Segoe UI / 11 / —	Font, size, position。
Alerts	Alert on Consensus Shift / VCD	false	consensus shift または VCD alerts。
	Popup / Sound / Push / Email	Popup+Sound	Alert channels。
Performance	Max Bars	2000	Calculation depth。

Cross-Asset Workflow

同じ設定で **Forex, Crypto, Indices, Metals, Energy, Stocks** に対応し、symbol retuning は不要です。

Color Themes

Quantum Color Theme library の 20 themes。各 band は bull / bear の strong / weak を使います。

EA Integration

Expert Advisor から **bias**、**divergence**、**Quality**、**scanner** を読む。

Basic iCustom Call

```
int handle = iCustom(_Symbol, PERIOD_CURRENT, "Market\The Oracle Pro");
double ctf[];
CopyBuffer(handle, 0, 0, 3, ctf); // CTF consensus
double bias = ctf[1]; // confirmed bar
```

Public Buffer Contract

Buffer	Content	Values
0	CTF Consensus	現在 TF の signed bias state
1	HTF1 Consensus	HTF1 signed bias state または EMPTY
2	HTF2 Consensus	HTF2 signed bias state または EMPTY
3	Consensus Buy	bullish consensus shift の event flag (+1)、それ以外 EMPTY
4	Consensus Sell	bearish consensus shift の event flag (-1)、それ以外 EMPTY
5	VCD Buy	bullish VCD event の event flag (+1)、それ以外 EMPTY
6	VCD Sell	bearish VCD event の event flag (-1)、それ以外 EMPTY
7	Quality	Quality Score 0-100
8	Scanner Bias	Live scanner bias: +1 bull, -1 bear, 0 neutral; history EMPTY

💡 **Buffer 0** が最も簡単な連携です。positive = bullish、negative = bearish。Buffer 7 と組み合わせます。

⚠️ **必ず confirmed bar を読みます。** non-repaint logic では `[1]` を使い、`[0]` は使いません。HTF Forming Bar は discretionary live preview です。

Merkava ecosystem

The Oracle Pro は Meridian Pro と同じ **Synthetic Timeframe Architecture** を使います。Vector Consensus Divergence は The Oracle Pro 専用です。

💡 **EA visibility:** public buffers が安定契約です。internal render buffers は隠されています。

FAQ とサポート

よくある質問

The Oracle Pro は売買指示を出しますか？

いいえ。これは multi-timeframe, multi-factor **bias engine** です。背景と警告を提供し、エントリー、エグジット、利益を約束しません。

Repaint しますか？

Default confirmed workflow は、1-bar HTF shift を使う causal closed-bar reading のために設計されています。HTF Forming Bar を有効にすると discretionary live preview を見ます。

どの engine を使うべきですか？

落ち着いた持続 bias には Trend State。低い TF と scalping の速い反応には Momentum State。

なぜ HTF は bias changes を減らしますか？

より多くの timeframes の一致を求めるため条件が厳しくなります。flips は減り、confirmation は増えます。

初期に HTF 行が "—" と表示されるのはなぜですか？

Synthetic engine が M1 から history を構築する必要があります。10-30 秒待ってください。

M3/M9/M27 は使えますか？

はい。Ratio Preset と Base Ratio x3 を使います。

Strategy Tester は使えますか？

はい。自動テストには public buffers を使います。

複数 instances は可能ですか？

はい。各 instance は独自の prefix と state を保持します。

対象 assets は？

Forex, crypto, indices, metals, energy, stocks。symbol retuning は不要です。

サポート前の確認

1. 最新の MQL5 Market version を使う
2. 読み込み後 30 秒待つ
3. まず demo account で確認する

連絡先

Merkava Labs

Website: www.merkavalabs.com

Email: contact@merkavalabs.com

MQL5: 製品ページから private message

リスク免責: 取引には大きなリスクがあります。The Oracle Pro はテクニカル分析と意思決定支援のためのツールであり、金融助言ではありません。利益を約束しません。

© 2026 Merkava Labs. 全ての権利を留保します。

Version 1.00 — 2026年6月